

校内研だより



令和4年9月20日(火)
研究推進部
No.16

1 対話の会を終えて

有志だったのに、教室に入りきらないくらい集まっていたいただき、ありがとうございました。目の前の教科や領域も大切ですが、もっと大きな前提を考えることも大切です。自分と社会がwell-beingになるように、取り組んでいきましょう。きっとその先に新しい教育や社会のカタチがあるはず。感想もありがとうございました！



2 研究授業③を終えて

(1) 本時 <子供たちの思考を「しごとの『ひみつ』」に向けた1時間>

○1学期の振り返りからまちに注目していく



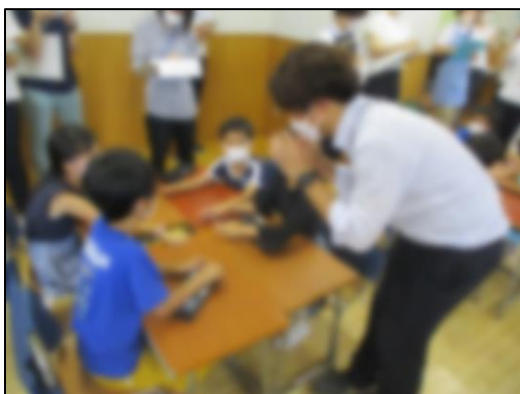
何枚かの写真を見ながら、1学期のまち探検を振り返りました。子供たちの意欲がグングン高まっていくのを感じましたね。授業前のアイスブレイキング?も、その後に繋がって行ってナイスでした！

○店の写真を見て、人に注目していく

具体的な店の写真の読み取り。人が写っていると、自然に子供たちの目がそちらに向きますね。スムーズに押さえることができたのは、良かったです。わざわざお願いして、被写体になってもらった甲斐がありましたね。ここに教材研究の面白さがあります。



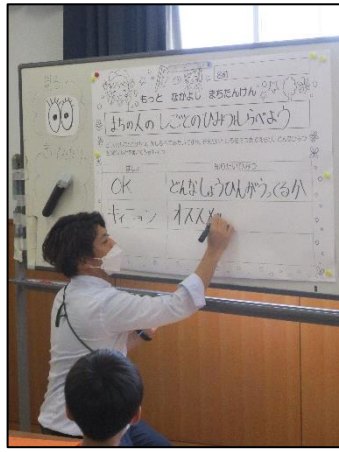
○視野を広げ、「しごとのひみつ」に迫る



他にはどんな店があったか話し合い、2学期の探検は、自分たちがインタビューできることを知ります。この時の歓声は、気持ち良かったですね。その後、具体的にインタビューの内容を話し合いました。先生の意図とおりには、なかなか出てきませんでした。2年生という発達段階を考えた時にどこまで、主体性に任せるかは要検討です。それにしても、本当によく喋る子供たちでしたね。

○問いを見出し、今後の学習計画を立てる

大きな問いをクラスで話し合いました。ちょっと先生の意図が見え過ぎていた気もした…。子供の思考とのずれは、それまでの展開を見直すよい機会になると思います。最後は、行きたい店と理由を書きました。自分の願いが実現されると、さらに意欲は高まると思います。

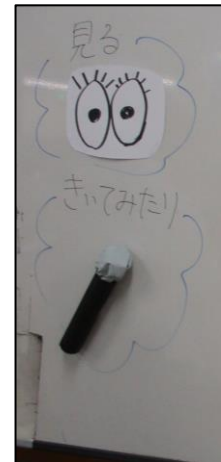
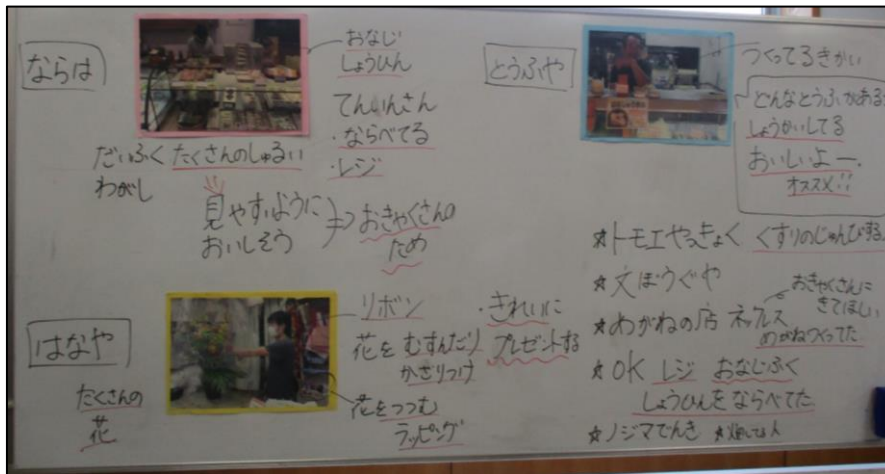


○研究協議会



先生方もよく話し合っ
て、学び合いました。生活
科で大切にすることは、
他の教科にも通じること
が多かったですね。しっ
かり授業改善していきま
しょう。詳しくは、記録を
参照してください。

○板書



(2) その他

○データ

・授業記録、研究協議会記録はクラスルームで配信しています。今後の参考にしてください。

○講師の石橋昌雄先生から

☆「もの」、「動くもの」の先にある「感性」を目指す！

☆「ふしぎ」の後に「ひみつ」がある！

☆ゴール（もっと親しくなりたい！もっと知りたいまちの人）を大切に！

（☆生活科の3ポイントは「自分とのかかわり」「人の想いや願い」「調べたいという意欲」）

（☆社会科の3ポイントは「みんなの中の自分（社会の構造）」「人の想いや願い（生活科と共通）」「問いをもち続ける（次が見える）」）

○授業者から

たくさんのご意見やご指導をありがとうございました。「もの」から「人」へ目を向かせるために、3回の事前授業をとおして、学年で話し合ってきました。「しごと」のことだけでなく、働いている人の「想いや「願い」を取り上げることができなかったのが反省点です。これからの授業や、実際にまちたんけんに行くときに、働きかけていきたいと思っています。また、子供たちは小金井のまちが大好きで、私が知らないこともよく知っています。子供たちのつぶやきをしっかりと拾い、広げていけるよう、今後も指導していきます。



3 様々な研修を終えて

夏休みの終わりには、ICT 研修（ゴメンなさい写真撮り忘れしました…）、先日は外国語研修がありました。忙しい中ですが、自己研鑽は大切です。本校職員の強みである「対話」を大切に、技能を高めながら、より良い教育活動をしていきたいですね。ご準備いただいた、ICT 担当や外国語担当の先生方、ありがとうございました。



4 その他

☆振り返りについて学年で話してみてください。

☆パーパレス活動にご協力をお願いします。

☆ 28日(水) 校内研指導案検討（5年生）

☆10月21日(金) 校内研究会◎（研究授業④5年生） *研究だより*⑩